

学校だより 6号

高松市立太田南小学校

前号に続いて、辻井伸之さんの話題になりますが、伸之さんは幼少の時に母さんが口ずさんだ歌を聴いて、即興で同じメロディーを弾くことができたようです。そのため、盲目というハンディは背負ったものの、音楽に関しては天才のように思われがちです。しかし、彼を指導していた先生は、「彼はみんなの前では努力している姿を見せませんが、見えないところでもものすごく一生懸命頑張っています。努力家です」とのコメントが紹介されていました。この話を聞いた時、昨年度、本校で行った「ようこそ先輩」でモスクワを拠点に活動するピアニスト香川愛さんのお話を思い出しました。香川さんは、普段は毎日8時間ぐらいピアノを練習しており、コンサート前になると12時間近く練習するとのことでした。練習の裏付けが、自分自身の自信になり、それが高度な技法による素敵な響きを生み出すのだと思います。

放課後になると、音楽室から合唱部の子どもたちの素敵な歌声が響いています。今、読売音楽会、NHK合唱コンクールを目指して一生懸命頑張っています。音楽室を覗くと、歌声はもちろんですが、子どもたちの真剣な顔の表情や自然な体のリズムから、全員の一体感を強く感じます。一人一人の子どもたちが自分たちの課題を意識しながら、協力してその課題を解決していく充実感・達成感を友達と共有することが、子どもたちをさらに進化させています。

学級経営も同じです。学級で具体的な目標を決め、それに向かって力を合わせてがんばることで、充実感・達成感を友達と共有する時間を大切にしています。運動会は一人一人の頑張りが完成度の高さにつながっているのも、それがよく分かります。また、学級の中で話し合っただけの内容の場合は、学年・学級によってそれぞれ違いがでてきます。

【学校の様子から】

- ① 4月当初の地震発生時の対応、それに伴う火災発生を想定した避難訓練に続き、6月3日に不審者対応についての校内防犯訓練を実施しました。校門から校内へ侵入し、うろついている不審者を発見→職員室へ通報→現場に急行し初期対応→※



↓
緊急放送①「授業中ですが、〇〇を点検してください」

※→説得に応じない。言い争いになる

担任は児童の安全確保

緊急放送②

↓
「男性職員は〇〇急行してください。児童の皆さんは先生の指示に従ってください。」

警察の方からは、不審者らしき人を発見したときは、まずは職員室へ案内し、子どもとの距離を遠ざけることが大切だとしてご指導いただきました。

その後、体育館での児童への全体指導では、『誘拐・通り魔から子どもを守るために』のパンフレットにあるように、
① 頭の中に町の「地図」 ② 心に危険を知らせる「カモ」
③ 体で覚える相手とギリギリ「1メートル」について、お話がありました。

